

かながわエコドライブ推進協議会の解散と今後の取組について

かながわエコドライブ推進協議会事務局

1 昨年度の総会結果

第 21 回かながわエコドライブ推進協議会総会において、本協議会の解散も含めた今後の方針について意見を聴取した結果、既に御報告しましたとおり、26 団体中 24 団体から「解散に異議なし」との回答をいただきました。

一方、「成果内容を具体的に示したうえで（解散について）議論すべき」や「他の団体と活動内容を共有する上でも存続を希望する」という意見がありました。（別添資料 1）

2 これまでの成果等

(1) 神奈川県内の環境基準の達成状況

神奈川県では、自動車から排出される窒素酸化物と粒子状物質の総量を削減するため、「神奈川県自動車排出窒素酸化物及び粒子状物質総量削減計画」を策定し、自動車単体規制の強化や低公害車の普及促進、エコドライブの普及推進などに取り組んでいます。

その結果、県内の二酸化窒素濃度は、最も高い測定局である池上新田公園（川崎市川崎区）も含めて平成 27 年度からは継続して環境基準を達成するなど、減少傾向となっています。（別添資料 2）

(2) 各構成員によるこれまでのエコドライブ推進活動

本協議会の構成員は 2024 年 5 月現在、26 団体（脱退した構成員を含めると 30 団体超）です。

各構成員による、これまでのエコドライブ推進活動について、主な取組をまとめたところ、過去 10 年間の参加人数は、延べ約 85 万人（重複含む）となり、各構成員による積極的なエコドライブ推進活動は今後も継続されていくと考えます。（別添資料 3）

3 協議会の解散について

上記 2 のとおり、エコドライブの普及推進については、一定の成果が得られたものと考えますが、以前より、本協議会の活動は各構成員の個別活動の共有に重点が置かれており、現在は協議会として共同事業などの取組を実施していない状況にあります。

また、第 21 回かながわエコドライブ推進協議会総会においても、協議会として新たに取り組みたい活動について回答がありませんでした。

こうした状況を踏まえ、活動の情報共有を行っていくことは重要と考えますが、協議会を構成する意義が薄れているため、令和 6 年度末をもって本協議会は解散とする方針といたします。

4 今後の取組について

県からは令和 7 年度以降についても、引き続き、皆様へ取組状況等の照会をさせて

いただき、県ホームページ上で周知等を行う等、情報共有していきたいと考えております。なお、今年度については、現構成員同士で協働できる案件の募集及び今後 3 年間の活動予定の照会を行った上で、県ホームページ上で情報共有させていただきます。

神奈川県では、今後ともエコドライブに係る普及啓発等の取組を継続します。具体的には、九都県市と連携したエコドライブ推進活動や、エコドライブシミュレータを用いたイベントでの周知、エコドライブステッカーの送付等を行います。

皆様にあつては、今後とも、エコドライブ推進活動にご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

以上